

人間社会学部／社会福祉コース	職名	准教授	氏名	河野 高志
----------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2006年3月京都府立大学福祉社会学部卒業。2012年3月京都府立大学大学院公共政策学研究科福祉社会学専攻博士後期課程修了。博士（福祉社会学）。京都府立大学、京都女子大学、神戸親和女子大学（現：神戸親和大学）の非常勤講師を経て、2012年10月に本学着任。専門はソーシャルワーク論、ケアマネジメント論です。これまでの研究では、①英米を中心としたケアマネジメントの発展過程の整理、②ミクロ・レベルからマクロ・レベルにおけるケアマネジメントの特徴の整理、③ソーシャルワークにおけるケアマネジメント展開の検討、④地域包括ケアシステムにおける多職種連携の促進要因の分析、⑤地域共生社会におけるソーシャルワーク実践の効果の検討を行ってきました。また、共同研究ではソーシャルワーク実践に活用するコンピュータ支援ツールの開発を行っています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- 河野高志（2023）「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワークの機能と効果 ―重層的支援体制整備事業の促進に着目して―」『福岡県立大学人間社会学部紀要』31（2），pp.1-16.
- 西梅幸治・山口真里・加藤由衣・河野高志・中村佐織（2024）「ソーシャルワーク実践における過程展開に関する科学化 ―エコシステム視座の具体化に向けた試みに焦点化して―」『福祉社会研究』24，pp.31-48.
- 河野高志・山本大輔（2024）「ソーシャルワーク実践支援ツール『e スキャナー』によるアセスメントの意義 ―介護予防デイサービス事業所での調査を通して―」『ソーシャルワーク支援研究』1，pp.21-32.

②その他最近の業績

<学会発表>

- 山本大輔・河野高志（2023）「ソーシャルワーク実践におけるアセスメントについての研究 ―アセスメント支援ツール『e スキャナー』の試行と検討を通じて―」日本ソーシャルワーク学会 第40回大会，東北福祉大学，2023年7月8日.

③過去の主要業績

- 河野高志（2021）『ソーシャルワークとしてのケアマネジメントの概念と展開 -地域包括ケアシステムにみるミクロからマクロの実践-』株式会社みらい
- 河野高志（2021）「地域包括ケアシステムの構築における課題と進捗状況の検討 ―地域包括支援センターの全国調査を通して―」『社会福祉学』62（2），pp.76-90.
- 河野高志（2019）「地域包括ケアシステムにおける多職種連携の促進要因」『社会福祉学』60（1），pp.63-74.

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本リハビリテーション心理学会

6. 担当授業科目

《学部》

「社会福祉学概論Ⅱ」(2単位・1年・後期)、「ソーシャルワーク演習A」(1単位・1年・後期)、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」(2単位・2年・通年)、「ソーシャルワークの理論と方法A」(2単位・2年・前期)、「ソーシャルワーク実習A」(2単位・2年・後期)、「社会福祉学演習」(2単位・3年・通年)、「ソーシャルワークの理論と方法D」(2単位・3年・前期)、「ソーシャルワーク演習C」(1単位・3年・前期)、「ソーシャルワーク演習D」(1単位・3年・後期)、「福祉専門職特講A」(3年・2単位・後期)、「卒業論文」(6単位・4年・通年)、「精神保健福祉援助実習」(5単位・4年・通年)、「精神保健福祉援助実習指導」(3単位・3～4年・通年)

《大学院》

「特別研究Ⅰ」(4単位・1年・通年)、「フィールドワーク」(2単位・1年・通年)、「ソーシャルワーク研究A」(2単位・1～2年・前期)、「ソーシャルワーク研究B」(2単位・1～2年・後期)、「特別研究Ⅱ」(4単位・2年・通年)

7. 社会貢献活動

直轄地区居住支援協議会 委員

一般社団法人日本社会福祉学会 第7期代議員

嘉麻市男女共同参画審議会 会長

直方市障がい者差別解消調整委員会 委員

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等